

お詫びと訂正

『最新介護福祉全書 3 巻「介護の基本」』におきまして誤りがございました。以下のとおり訂正いたしますとともに、本書をご愛用いただいている皆様にご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

メヂカルフレンド社編集部

(最終更新日：2016 年 2 月 2 日)

該当箇所：p 349 の 12 行目～p 350 の 1 行目

誤（赤字部分）	正（赤字部分）
また、65～79 歳では家庭内での不慮の事故（総数 1 万 4582 件）のうち転倒・転落が 2645 件（18.1%）、不慮の溺死および溺水が 5156 件（35.4%）と、身近な場所での事故が加齢とともに増加していることがわかります。また、不慮の窒息が 4001 件（27.4%）と若い世代に比較して圧倒的にその件数が多くなっていますが、これは食物の誤嚥によるものです（表 11-1）。	また、65～79 歳では家庭内での不慮の事故（総数 4929 件）のうち転倒・転落が 864 件、不慮の溺死および溺水が 2054 件と、身近な場所での事故が加齢とともに増加していることがわかります。また、不慮の窒息が 1153 件と若い世代に比較して圧倒的にその件数が多くなっていますが、これは食物の誤嚥によるものです（表 11-1）。